

公共建築物の木造化・木質化により、**カーボンニュートラル社会の実現に貢献** -あすなろの郷、畜産センター等の整備-

事業の目的

- ◆木は光合成でCO₂を吸収し、幹や葉に炭素を固定
- ◆伐採され、木材になっても炭素を固定した状態を維持
 ⇒燃やさない限り二酸化炭素が放出されない

カーボンニュートラル社会の実現
 のためには
建築物の木造化・木質化が重要!!

事業の概要

施設名称	階数・構造	延床面積 (㎡)
あすなろの郷 セーフティネット本棟	2階・ RC造一部S造	13,187
あすなろの郷 セーフティネット寮棟	平屋・木造	5,331
畜産センター 養豚研究所 豚舎他	平屋・木造	1,953

県産木材を積極的に活用しており、
 具体には構造材、垂木、間柱、
 天井杉板張、巾木などに使用し…



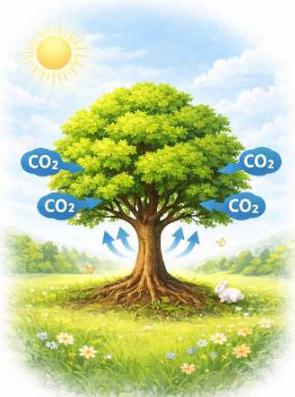
木材使用量は約 1,600㎡!!
 (戸建住宅の約80戸分に相当)



あすなろの郷
セーフティネット本棟



畜産センター養豚研究所 豚舎



あすなろの郷 セーフティネット寮棟



事業の効果

- ◆上記の建築物等 (R6年度に竣工) で、**木材(スギ、ヒノキ等)** を**約1,600㎡使用**
- ◆建築物が**貯蔵した炭素の合計量は約1,000t-CO₂**
 ※ **一世帯当たりの二酸化炭素排出量と比較すると……約270年分に相当!!**



公共建築物を木造化・木質化することにより、
カーボンニュートラル社会の実現に寄与!!

※「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン (林野庁作成)」に基づいた計算方法により算出